

小・中学生のみなさんのボランティア活動を応援します

「地域のためにできることからしてみたい！」というみなさんの熱い気持ちを、地域貢献活動を通して、カタチにしてみませんか。

学校が実施する地域貢献活動を応援します

パートナーシップ活動支援センターでは、若い世代が気軽にボランティアに参加するきっかけとして、学校で、ボランティアや「まどかぶらっと」に関する説明会や体験活動への支援を実施しています。

地域活動を体験することで、地域との関わりを深め、思いやりと感謝、勤労、奉仕の精神を学ぶ良い機会となり、参加した児童・生徒や学校の先生から共感を得ています。すでに多くの児童・生徒が「まどかぶらっと」に登録し、ボランティアに取り組んでいます。

※登録児童・生徒数 計1259人（令和7年4月時点）

参加の流れ

- ①「まどぶらパス」を登録
- ②参加したい活動を調べる
- ③まどぶらパスを持って活動に参加（主催者からポイントが付与）
- ④ポイントを交換

登録の条件

公益活動に参加する意思のある小学生以上であること
※18歳未満の人の登録には、保護者の同意が必要です。



地域貢献活動レポート

「地域を愛し、地域とつながり、心を育てる」 大野中学校の取組

大野中学校では、以前は部活動単位で地域活動に参加していましたが、主体性をもち、地域とのつながりを感じてほしいことから、生徒が居住区の活動に自主的に参加できるような体制づくりをしています。

今年は、「自分の住む地区の行事に積極的に参加し、自分のできる範囲で地域に貢献する」ことを目標に、地域と家庭と学校が連携して生徒たちの成長を温かく見守っています。

活動の流れ

- 年度の初めに、全校集会で説明を受け、各生徒が保護者の同意を得た後、「まどぶらパス」に登録
- 学校で地域活動一覧表を配布し、活動日が近付いたら案内を配布。参加を希望する生徒は、職員室前に設置している提出箱に申込書を提出。
- 活動当日は、生徒は自分で活動場所へ行き、生徒が直接地域の人と打ち合わせや確認を行う。
- 活動が始まってから、教師は現場に赴き、生徒たちに声をかける。
- 後日、昼食時の校内放送や学校のホームページを通じて、活動の様子を伝える。その際、活動を見守った教師が感じたことや、地域の人からいただいた言葉を紹介して、生徒たちの次の活動意欲へとつなげている。

参加した生徒の様子

生徒は地域の活動を楽しみながら参加していました。最初は、ポイント付与がきっかけで参加した生徒も活動そのものを楽しむようになりました。地域の人から声をかけられ、自分たちの活動が地域の役に立ち、喜ばれていることを実感でき、次の活動への意欲につながっています。また、地域の人と顔なじみになることで、活動時以外にも声をかけてもらうなど、地域がより身近に感じられている様子がうかがえます。



先生の声 生徒に伝えたいこと



大野中学校
主幹教諭 結城和郎

「地域を愛し、愛される大野中になろう！」地域貢献活動の時に限らず、日頃から生徒たちに伝えている言葉です。「人は一人では生きていくことはできず、親や家族、地域の人など多くの人たちに温かく見守られているから安全・安心に生活ができる」ことを、地域貢献活動を通して生徒たちに実感してほしいと思っています。地域の人から温かく見守っていただいているからこそ、自分のできる範囲で地域に恩返しをする。人と人とのつながりを大切にし、人のために主体的に行動できる大野中生となってくれることを心から願っています。